

消費者委員会公共料金専門調査会
東京地区タクシー運賃組替え案への意見

平成 28 年 11 月 9 日
一般財団法人日本消費者協会
理事長 松岡 万里野

1. 東京地区タクシー運賃初乗り料金の上限を、日本交通の例で 1.059Km までを 410 円とし、237m ごとの加算運賃を 80 円とする距離と運賃についての案に異議はない。理由としては、東京地区の初乗り運賃はたいへん高いとの実感があり、初乗り料金の値下げは当然に思えます。また、東京の平均乗車距離 4Km の料金が現行料金の 1,450 円と同額になっていることもあります。10Km での現行運賃と申請運賃の差が申請運賃の方が 110 円高くなるはありますが、東京地区において一般消費者の長距離乗車は、多くはないと思われます。
ただし、初乗り上限の 410 円、237m ごと 80 円の加算の根拠がわかりません。
2. 渋滞対策として時間距離併用運賃になっているが、現行 105 秒でも早いと思えるのが、90 秒となると信号待ちはほとんど加算され実質値上げになったと消費者に感じさせる。90 秒にした根拠は何か。長距離になると信号の数も多くなり、加算も多くなり、実質運賃を上げることにならないか。時間距離併用の運賃は新体系ではどのようなシミュレーションになるのか示してほしい。
3. タクシーのサービスに対して消費者に潜在的な不満がある。改善を要望する。
 - ・運転手が大きな荷物の積み下ろしを手伝ってくれない。
 - ・行く先を告げても返事をしない運転手がいます。
4. タクシー事業者への改善要望。
 - ・住宅地や早朝時間帯（8 時半ごろまで）に流しのタクシーがほとんどありません。病院通い、荷物のある時、電車の事故等で急ぎたい時、早朝で公共交通が少ない時など、タクシーに頼りたいが流しには頼れない不便さがあります。迎車を頼みたいと思っても東京の場合、タクシー会社がどこにあるのかわからず困ってします。アプリ利用など消費者の情報アクセスの改善を図ってください。
 - ・タクシーの車体の改善を進めるべきです。タクシーの乗り降りが狭くて不便です。体格の大きい人や体の不自由な人には乗り降りがたいへんです。一部には改善の動きがあるようですが、ワゴンタイプや車体の改善を自動車メーカーと進めてください。
 - ・クレジットカード利用が全車でできるようにすべきです。料金が明確になり、信頼

性が高くなります。海外でタクシーを利用する時クレジットカード利用の方が安心
できます。外国客にとっても安心感があるでしょう。

- ・東京にも観光タクシーがあるようですが、京都ほど知られていません。料金や内容
申込み方法等と共に広く広報すべきです。
- ・ライドシェアが話題になっています。この仕組みの良いところは、タクシー業界も
どんどん取り入れるべきでしょう。

以上